

14. 鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進

【令和7年度予算概算要求額 12,295 (10,009) 百万円】

<対策のポイント>

農作物被害のみならず農山漁村での生活に影響を与える鳥獣被害の防止のため、**鳥獣の捕獲等の強化**や**ジビエ利活用拡大への取組**等を支援します。
また、森林における**効果的・効率的なシカ捕獲の取組**を実施、支援します。

<事業目標>

- 農作物被害を及ぼすシカ、イノシシの生息頭数を平成23年度から半減（約215万頭 [令和10年度まで]）
- 野生鳥獣のジビエ利用量を令和元年度から倍増（4,000t [令和7年度まで]）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 鳥獣被害防止総合対策交付金

12,185 (9,900) 百万円

〔総合的な鳥獣対策・ジビエ利活用拡大への支援〕

① 鳥獣被害防止総合支援事業

シカやイノシシ、サル、クマ等への対応など「被害防止計画」に基づく地域ぐるみの取組や侵入防止柵の設置、**鳥獣対策に係る総合的な人材育成**等を支援します。

② 鳥獣被害防止都道府県活動支援事業、都道府県広域捕獲活動支援事業

都道府県が主導して行う鳥獣被害防止対策や**広域捕獲に係る取組**等を支援します。

③ 鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業

被害を及ぼす野生鳥獣の捕獲活動経費を支援します。

④ 鳥獣被害対策基盤支援事業、全国ジビエプロモーション事業

被害対策推進のための人材育成や**ジビエ消費拡大を図るプロモーション**を行うとともに、**ジビエ利活用の更なる拡大に向けたペットフードへの利用促進**や**情報発信の取組**等を支援します。

⑤ シカ特別対策事業、クマ特別対策事業

シカの集中捕獲や、クマの捕獲対策を体制整備と併せて支援します。

⑥ スマート捕獲等普及加速化事業

ICT等を活用したスマート鳥獣害対策のモデル地区の整備と横展開を支援します。



侵入防止柵の設置や捕獲機材の導入



刈り払い等による生息環境管理



捕獲活動経費の支援



処理加工施設等の整備



処理加工施設等における人材育成

〔捕獲等の強化〕

① スマート鳥獣害対策の推進

ICT等を総動員し被害対策を実施するモデル地区を整備し、優良事例の創出と横展開を推進



② シカ、クマの捕獲対策の強化

被害要因、生息状況等に基づいたシカ、クマの捕獲対策に係る総合的な取組を支援



③ 高度な鳥獣被害対策人材の育成・確保

地域の実情を踏まえた対策の実施が図られるよう、鳥獣被害対策を主導する人材の育成・確保を支援

〔ジビエ利活用拡大に向けた取組〕

① ジビエペットフード等によるジビエ利用の拡大



② ジビエの情報発信強化

ジビエ利活用の更なる拡大に向けたコンテンツ等の展示を通じた情報発信の強化



<事業の流れ>

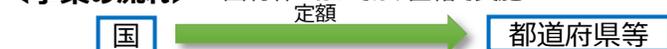


2. シカ等による森林被害緊急対策事業

109 (109) 百万円

森林におけるシカ捕獲を効果的・効率的に実施するため、ドローンを活用した捕獲ポイントの特定調査や、簡易な捕獲個体処理施設の整備等を実施、支援するとともに、国有林野における国土保全のための捕獲を実施します。

<事業の流れ> ※国有林においては、直轄で実施



【お問い合わせ先】

(1の事業) 農村振興局鳥獣対策・農村環境課 (03-3591-4958)

(2の事業) 林野庁研究指導課 (03-3502-1063)